

バスロケーションシステムの 社会実験について

株式会社タウンクリエーション
防長交通株式会社

バスロケーションシステムとは

▪ 無線通信やGPSなどを利用し、バスの位置情報などのデータを集積し、バスの運行情報などを利用者にお知らせしたり、運行事業者が集積されたデータを基に、渋滞などの遅れ情報による分析にて、より適正な運行を行えるようにするためのシステム。

バスロケーションシステムの種類

- システムの根幹は、バスの位置情報の把握。
 - ①バスとバス停に備え付けられた無線通信により通過情報をやり取りする方法
 - ※バスがバス停を通過しないと情報がとれない。
 - ②GPSを利用してバスの位置を取得し、パケット通信や業用無線にて情報センターと通信する方法

バスロケーションシステムの導入目的

▪ バス利用者の声

- ①バス停で待っていてもバスが来ない。
- ②バスの時間がわからない。
- ③日差しがきつくて...雨が...まだ来ないと思ってゆっくり向かっていたら...など、バスがまだだとわかっていれば対応できたのに。

▪ バス事業者

- ①毎日のように道路状況が変わり、定刻運行できない。
- ②利用者から連絡があっても、バスの位置がわからない。
- ③遅れ状況が、正確につかめないため、ダイヤ改正時に適切な修正が難しい。

バス利用者は、待っているバス停や自宅からでも、バスの運行情報をスマートフォンやパソコンなどから知ることが出来るようになり、バス利用に不安がなくなる。

バス事業者は、リアルタイムにバスの位置が把握できるためバス利用者に適切な情報が提供できる上、データの集積によりダイヤ改正に活用できる。

バスロケーションシステムの社会実験

- ・利用者の利便性向上や、事業者の効率化のみならず、バスのIoT(Internet of Things)化により、多種のサービス提供が可能なリアルタイムなインフラ基盤についての検証を行う。
- ・バス車両に積載した場合の振動や熱などへの耐久テストを行う。
- ・バス事業者にて、運行状況の確認(遅れ状況など)および把握を行う。

【社会実験内容】

- ・利用サービス : BUSit(株式会社タウンクリエーション)
- ・社会実験期間 : 平成28年9月1日から 1ヶ月間
- ・対象路線 : 緑ヶ丘循環線
- ・実験内容
 - ①社会実験開始前に準備期間を設け、事前運用実験を行う。
 - ②車載機10台を用いて、バス運行情報の集積を行い、BUSitを利用して運行情報をバス利用者にお知らせ。
 - ③バス事業者にてリアルタイム情報、運行履歴などを監視端末にて確認。

バスロケーションシステムの社会実験概要図



スマートフォンとNFC技術を活用した
クラウド型バスロケーションシステム

BUSit

バスイット



株式会社タウンクリエーション

広島市中区本川町2丁目1-24

082-275-5220

info@towncreation.com

BUSit(バスイット)バスロケーションシステム構成図

【環境設備の優位性】

汎用設備・クラウドサービス・ローコスト・短納期



バス利用者向け到着案内BUSit

【BUSitの優位性】

高価なバス停表示器の代わりになる仕組み

簡単操作でバスの待ち時間を表示

- ◆バス停にBUSitステッカーを貼るだけで環境が整う
- ◆スマートフォンをBUSitステッカーにかざすだけでバスの到着情報を自動表示
- ◆BUSitステッカーには、NFCタグが内蔵されている



NFC動作温度
-20℃
~80℃

NFC耐用年数
50年


NFC
国際標準規格

バス利用者向け到着案内BUSit

【アクセス方法】

1



2



3



【バス停画面】

多言語対応・バスの到着順に待ち時間を表示
車両情報表示(ノンステップ・車いす対応他)
運行ルート図・バスの走行位置・目的地到着時間

